A

はじめに

HS310D-A
HS310D-W
HS310-A
HS310-W

安全上のご注意(1)

HS310D-A　HS310-A
HS310D-W　HS310-W

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

⚠**警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠**注意**：人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

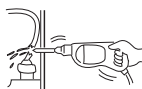
⚠：△は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。

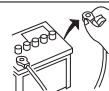
⃠：⃠は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。

❗：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

⚠警 告

⃠ **本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けないでください。**
交通事故やけがの原因となります。

❗ **車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。**
火災や感電の原因となります。

⃠ **本機を取り付けるときやアースを取るときに、車体のボルトやナットを使用する場合は、ハンドル・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。**
これらを使用しますと制動不能や発火、交通事故の原因となります。

❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。**
プラス⊕とマイナス⊖経路のショート事故による感電やけがの原因となります。

❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめ固定してください。**
ハンドルやセレクトレバー、シフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと交通事故の原因となり危険です。

⃠ **本機を船舶、航空機などの主航法装置として使用しないでください。**
測定誤差が生じたりするため、事故の原因となります。
また、塩害などにより、火災・感電の原因となります。

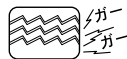
⚠ 警告

本機は 12V 車専用です。24V の車(トラック・バス・寒冷地仕様のディーゼル車など)では使用しないでください。
24V 車で使用すると火災や故障などの原因となります。

12V車専用

運転者は走行中には、本機の操作やディスクの交換はしないでください。
前方不注意となり交通事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させて行なってください。

運転者がテレビ等を見る場合は、必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)をかけて使用してください。
テレビ等は安全のため走行中は表示されません。また交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

万一、異物が入った・水や飲みものがかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

本機の中に水や異物を入れないでください。
発煙や発火、感電の原因となります。

電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。
コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電・故障の原因となります。

フィルムアンテナは取付要領書に指示された場所に貼り付けてください。
視界不良となり事故の原因となることがあります。取付要領書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープ等で取り付けないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。

接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
ショートにより火災や感電、故障の原因となります。

取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことをお確かめください。
正常に動かない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。

分解禁止
本機を分解したり、改造しないでください。
交通事故・火災・感電の原因となります。

ナビゲーションの操作
・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
・運転中に画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

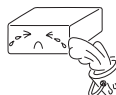
コード類の配線は、高温部を避けて行なってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(2)

⚠ 注 意

本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った取り付けや配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

雨が吹き込むところや、水のかかるところなど湿気やほこり・油煙の多いところへの取り付けはさけてください。
本機に水や結露(エアコンホース周辺など)・ほこり・油煙が混入しますと発煙や発火、故障の原因となることがあります。

直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、触れると火傷する可能性があります。

振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けはさけてください。
外れて事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

取付要領書にしたがって、正しく配線してください。
正規の接続を行なわないと、火災や故障の原因となることがあります。

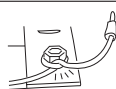
コードが金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触しコードが破損して、火災や感電・故障の原因となることがあります。

コード類は決して途中で切断しないでください。
コード類にはヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

電源用のリード線は、バッテリーに直接接続しないでください。
車の振動や熱でコードの被膜が破れ、ショートして火災や感電の原因となることがあります。

電源コードの接続は、配線作業の最後に行なってください。
ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

左右のスピーカーの⊖側を共通線にしたり、車体にアースしないでください。
ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

車体やねじ部分・シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、故障や感電・火災の原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電、故障の原因となることがあります。

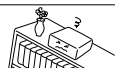
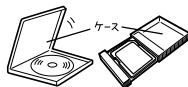
⚠ 注 意

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指をはさまないように注意してください。
挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

接触禁止

本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れないでください。
高温のため、やけどの原因となることがあります。

本機を車載用として以外は使用しないでください。
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。

エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

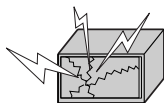
運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しないでください。
火災の原因となることがあります。

ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。
ナビゲーションによるルート案内のみにしたがって走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

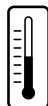
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。

ディスク／SDカードを出し入れするときは、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

使用上のご注意(1)

HS310D-A　HS310-A
HS310D-W　HS310-W

温度について

極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびや映像が欠けるなどの症状がみられることがあります。振動が止むと通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0℃以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

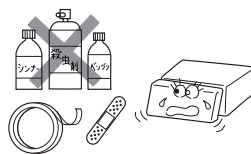
地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
  ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
  ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
  ・細街路を走行しているときの現在地表示画面
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
  ※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

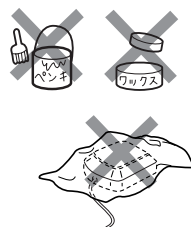
車のエンジン停止中でのご使用について

- 車のエンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがる恐れがあります。エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
  清掃するときは、電源を切り柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)
  ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。
  また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。

GPSアンテナについて

- GPSアンテナにペンキや車のワックスなどを塗らないでください。
  受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。
  GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。
  受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

インテリジェントキーの動作について

インテリジェントキーが装着されている車両では、インテリジェントキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任をおいかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客さまの責任において消去してください。
  「データを初期化(消去)する」G–33
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のデータや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

使用上のご注意(2)

地上デジタルテレビ放送の番組受信ついて

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

以下の点にご注意ください。

■本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要であり、ロヴィコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

■メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

■本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

■ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。

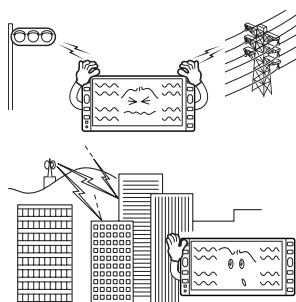
■本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

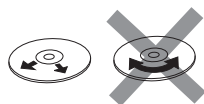
■本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

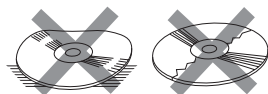
・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
・トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
・本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
・固定受信(ハイビジョン放送等)や携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
・ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

ディスクの取り扱いかた

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

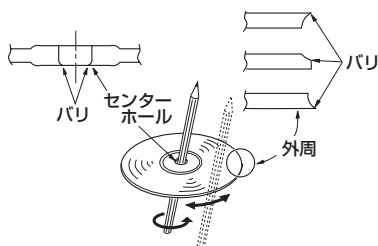
- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

- 印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。

- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。

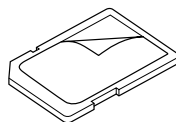
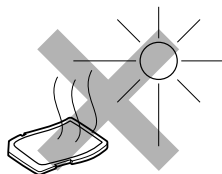
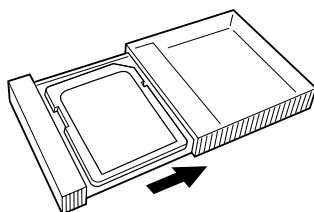
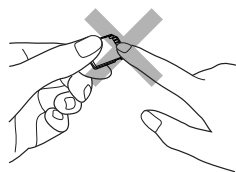
- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。

- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

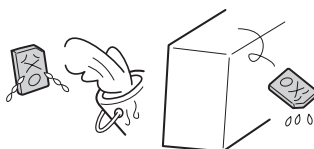
- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。
これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。

- ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。

SDカードの取り扱いかた

- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

- ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。

- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。
SDカードが使用できなくなる場合があります。

- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。

- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

SDカードについて

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- **お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された"SDカード"は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。**
- **本機にはSDカードは付属しておりません。**
  ※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- **32GBまでの容量の"SDカード"に対応しています。**
- **本機はSDXCカードには対応していません。**
- **フォーマット(初期化)について**
  SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
  「データを初期化(消去)する」G-33
  ※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分ご確認したうえで行なってください。
  本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なってから使用してください。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード/microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード/microSDカードをminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書き込み中/読み込み中/本機にデータ転送中は抜かないでください。また、車のキースイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
  画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
  ・地点編集「SDカードで地点を探す」C-25
  ・ルート探索「SDカードからルート探索をする」D-27
  ・地点登録「SDカードから地点を登録する」F-42
  ・Gracenoteデータベースのアップデート
  別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版)「Gracenoteデータベース」A-28
  ・音楽再生別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版) F-1
  ※対応可能なSDカードと再生につきましては別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版)F-8を参照してください。

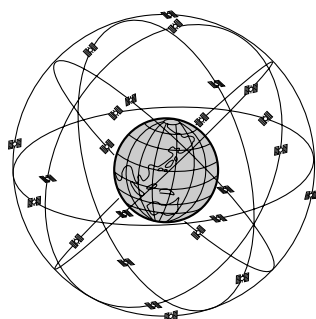
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

※本書ではSDメモリーカード・SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

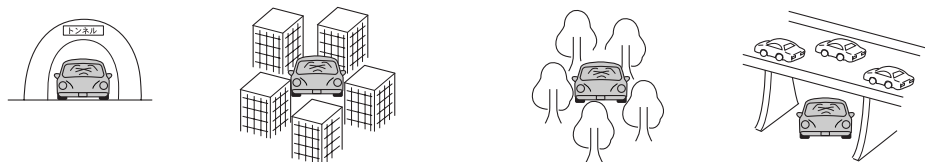
GPS衛星の電波受信と測位

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

GPS(Global Positioning System)について

地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。
※本機では高度は表示しません。

受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。
GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。
受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。

● トンネルの中　● 高層ビルに囲まれたところ　● 樹木の密集したところ　● 高速道路の下など

※同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位表示の背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。
本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。**現在地を表示するまでは移動しないでください。)通常は電源を入れてから数分で表示します。**

自律航法とマップマッチング

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

現在地の誤差について

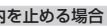
GPSを使った測位では、約30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法＊1＆マップマッチング＊2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

＊印1…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
＊印2…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、3次元のセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行によりますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にズレが発生する場合があることをご承知おきください。

音声案内について

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

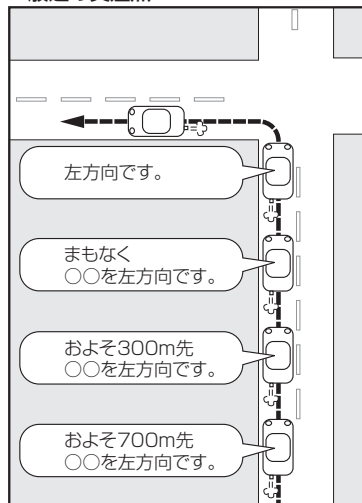
音声案内時の注意点

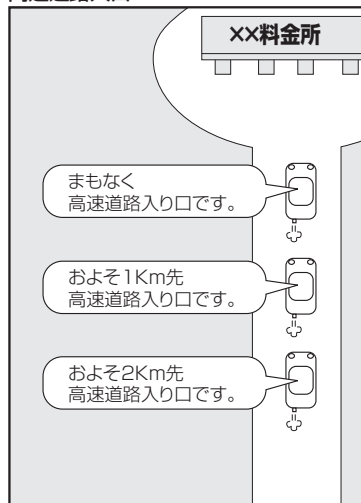
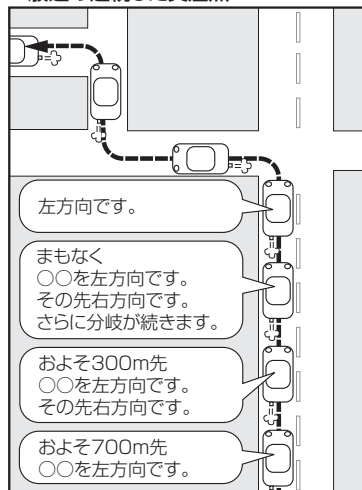
- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- シミュレーション走行時、細街路の音声案内をしますが、実際の走行では細街路の音声案内はしません。

アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は「音声案内の音量調整／案内設定をする」F–27をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などにしたがってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 現在地 を押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。
- 「■ 音声案内を止める場合」F–27で 消音 を選択している場合は、現在地 を押しても音声案内を聞くことはできません。

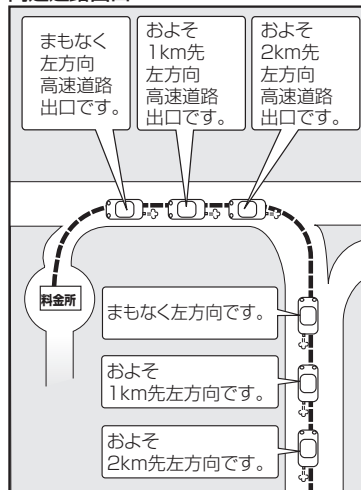
目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

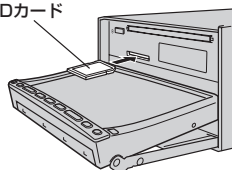
一般道の交差点*1

＊1印… 交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路入口

一般道の連続した交差点*2

＊2印… 連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

高速道路出口

パソコン連携(いつもNAVI)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

パソコンで指定のWebサイト(いつもNAVI)を利用して地点情報やルート探索した結果をSDカードに保存すると、本機で確認またはルートを再探索したり、本機に地点を保存することができます。いつもNAVIを利用するには、ユーザー登録を行なう必要があります。

パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて

1. 指定のWebサイト(いつもNAVI)にアクセスして、別紙に貼り付けられているIDとパスワードを入力し、会員ログインします。

※初回ログイン時のみニックネームとメールアドレスを登録する会員登録画面が表示されます。必要事項を入力し、登録を完了すると、いつもNAVIの"Myページ"へ進めます。

2. ★Webサイト上で地点を選択したり、ルート探索をします。登録地、登録ルートをSDカードを介してナビに保存できます。サイトの使い方についてはサイトのヘルプをご覧ください。

3. パソコンのSDカードリーダーにSDカードを差し込み、登録地、登録ルートを保存します。

「カーナビへ送る」ファイルの作成

①SDカード内に半角で"DRIVE"という名前のフォルダを作成する。

②★Webサイトの操作にしたがい、保存先とファイル名を確認し保存する。

③SDカード内に作成した"DRIVE"フォルダ内にファイルを保存する。

4. SDカードを本機に差し込み、情報を確認または保存する。

☞「SDカードで地点を探す」C-25
☞「SDカードからルート探索をする」D-27
☞「SDカードから地点を登録する」F-42

アドバイス

- ★印…詳しい操作方法は、いつもNAVI Webサイトの「ヘルプ」をご覧ください。
- SDカードを使用する前に☞「SDカードについて」A-12をご覧ください。
- SDカードに保存しているルートを本機で確認する場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行なうため、いつもNAVI上でのルート探索結果と異なります。
  ☞「SDカードからルート探索をする」D-27
  ☞「ルート探索条件の設定をする」F-45
- いつもNAVIで出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(いつもNAVIで指定した出発地にはなりません。)
- いつもNAVIは、株式会社ゼンリンデータコムが運営するサービスです。画面は変更されることがありますのでご了承ください。
- Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

会員ログインについて

- ログインは下記のURLから行なってください。
  URL:https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/
- ログインには別紙に貼り付けられているIDとパスワードの入力が必要です。
  有効期限まで無料でご利用いただけます。有効期限後の運用については、
  Webサイトにてお知らせします。
- ID、パスワードの再発行や追加発行はできません。

※Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

重要

※会員ログインに必要なＩＤとパスワードが記載されています。
無くさないよう大切に保管してください。

ログインには下記ＩＤとパスワードの入力が必要です。本紙は無くさないように大切に保管して下さい。

会員ログインについて

下記ＵＲＬからログインしてください。
https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/

有効期限まで無料でご利用いただけます。有効期限後の運用については、
WEB サイトにてお知らせいたします。

ユーザーID ○○○○○○○○
パスワード □□□□□□□□
無料有効期限 20XX年3月末予定

いつもNAVI インターネットでドライブ計画！

インターネットのドライブ計画サイト「いつも NAVI」で、お店や観光地など
色々な場所情報を取得。その情報を SDカードで持ち出しナビゲーションで活用できます。

STEP 1 行きたい場所を検索

おでかけ前に
「いつも NAVI」で
行きたい場所を調べて
地図を検索。

ログインについては、上記「会員ログインについて」
をご参照ください。

STEP 2 Myページに登録

「いつも NAVI」上に
Myページを開設。
Myページには、目的地や経由地、
走行ルートなどを登録し保存できます。

STEP 3 SDカードへ転送

SDカードに転送
SD カード
SDカードは市販のものを
ご購入してお使いください。

登録した場所（目的地や経由地）やルートを
SDカードに転送。

STEP 4 ナビゲーションで検索

SD カード
ナビゲーション に転送

SDカードからナビゲーションに転送。
転送した情報を使って、
ナビゲーションが目的地に案内します。

いつもNAVI は、株式会社ゼンリンデータコムが運営するサービスです。詳しい使用方法は、WEBサイトの「ヘルプ」をご覧ください。

2RR6P14A28800

会員登録ID・パスワードを忘れた場合

いつもNAVI Webサイトの会員ログイン画面にあるリンクをご利用ください。

いつもNAVI Webサイト
URL：https://www.its-mo.com/login_drive-plan/passreminder.htm

その他・お問い合わせ

詳しい操作方法は、いつもNAVI Webサイトの「ヘルプ」をご覧ください。
いつもNAVI Webサイトに関するご質問・お問い合わせは、株式会社ゼンリンデータコムまでお願いします。お問い合わせ方法は、いつもNAVI Webサイトの会員ログイン画面にあるリンクをご利用ください。

いつもNAVI Webサイト
URL：https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/